

石造五輪塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうごりんとう
所在地	久米南町里方
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	建久4年(1193)、法然上人生誕の地に熊谷直実が建立したとされる、誕生寺の一画に所在する。花崗岩製で、総高123cm、空・風・火・水・地の五輪が揃っており、室町時代初期の代表的な五輪塔である。各輪の四面に五大の種子が刻まれ、地輪の北面には「願主証寿 応永32年(1425)」の刻銘がある。
アクセス方法	JR誕生寺駅から徒歩約10分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	